

○ 平成 31 年 3 月 第 4 1 3 回 定例会 教育委員会関係一般質問

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
代表質問 白崎議員	<p>①学校再編計画について</p> <p>②文化会館について</p> <p>③ DINOU スポーツランドの今後の活用方針について</p>	<p>①昨年の総合教育会議で、市長から「子どもたちのより良い教育環境の充実のために、小中学校の再編は必要であり、校数や再編時期、方法などについて、再編計画を見直す」ことをお聞きした。8月教育委員会で、再編計画の見直しを決定したところ。</p> <p>その後、富山県魚津市や南砺市、岡山県真庭市、京都府南丹市など県外の6市を訪問し、地域の方々との合意形成の過程や学校再編後の課題、スクールバスの運行方法、校舎の利活用を視察した。</p> <p>視察内容を何度も振り返り、本市の現状と照らし合わせ、見直しの進め方について検討を重ねた。教育委員会では、視察の結果とこれまでの取組を踏まえ、新年度から、学校教育環境などについての様々なご意見を多くの方々からお聞きしていきたい。</p> <p>新年度から学校教育環境検討事業として、本格的に再編計画の見直しの取組みを進めていく。具体的には、5月中旬に「結の故郷教育シンポジウム」を開催、5月下旬から11月下旬にかけて「意見交換会」を開催する予定。小中学校、保育園、幼稚園の保護者や地域の皆さん、教職員などに、学校の教育や施設の現状を理解いただき、将来の教育環境について意見を伺うこととしている。日程は、各団体と調整していく。その他の団体から意見交換会のご要望があった場合は、対応していきたい。</p> <p>意見交換の進め方は、30人程度による車座形式で、参加人数が多い場合は、グループに分けながら意見の出しやすい方法を検討している。</p> <p>その後、シンポジウムや意見交換会での意見を集計し、取りまとめていきたい。</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>②これまでの経緯について説明します。</p> <p>平成 25 年度に、文化振興に関するアンケート調査を実施。平成 26 年度には「大野市文化会館在り方検討委員会」が、文化会館の在り方と今後の方向性に関する報告書を取りまとめた。現文化会館は、昭和 41 年に大野市民会館として開館。現在は、結婚式場として使用していた部屋を吹奏楽や演劇などの練習室とするなど、文化芸術活動に特化した施設とは言えない実情である。</p> <p>昭和 61 年に大規模改修を行っているが、舞台の狭さや空調などの各設備、舞台照明などの各機器の経年劣化が進み、改修する必要性が出てきた。また、平成 20 年度の耐震診断では E 判定となっている。</p> <p>これらの課題を踏まえ、先の報告書では、「新築すべき」との結論に至っており、建設候補地は、「駅東公園も含めた現在の文化会館敷地に建設することが望ましい」とされた。平成 28 年度に「大野市文化会館整備基本構想」を策定した。</p> <p>基本構想では、建設地を現駅東公園に新文化会館を建設し、現文化会館跡地に駅東公園を整備する方法を選定している。その理由として、利用を中断せずスムーズに移行できることや、文化会館と駅東公園を一体的に活用し市街地の活性化や賑わいを創出することができることなどをあげている。</p> <p>平成 29 年度には、基本計画の検討と並行して、経費削減のため、P F I 方式の導入を検討したが、事業所への調査結果などから P F I 方式を導入しないこととして、平成 29 年度末に予定していた基本計画策定を延期した。</p> <p>昨年総合教育会議で、市長から、厳しい財政面を考慮し、座席数を含めた施設規模の見直しについてお聞きした。教育委員会で見直しを決定し、策定委員会で見直しを行い、座席数を</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>現状程度にし、概算事業費や延床面積の絞り込みを行った。本年 2 月に、パブリックコメント、住民説明会を 3 回開催し、パブコメで 32 件、説明会で 34 件の意見があった。</p> <p>基本計画策定委員会で意見を検討し、先月、教育委員会で「整備基本計画」を策定した。パブコメの内容はホームページに掲載している。</p> <p>新文化会館の特徴の一つ目、文化ホールにふさわしい質の高い音響設備や舞台機構などを整備し市民が優れた文化芸術に触れることができる。</p> <p>二つ目は、新たに防音機能がある練習専用の部屋を設け、楽器演奏やダンスなど多目的に利用できる機能を備え、創作活動に取り組みやすくなる。</p> <p>三つ目に、情報・展示コーナーや喫茶コーナーを設け、ホワイエとエントランスホールを活動・交流スペースとし、多くの市民が気軽に集える。</p> <p>四つ目に、トイレ数の確保や新たに多目的トイレを設置し快適に利用していただくことができる。</p> <p>五つ目に、駐車場不足が緩和され、駐車場からの動線や館内のバリアフリー化によりスムーズに入館することができる。</p> <p>六つ目に、文化会館と公園を一体的に整備し、公園を活用した屋外イベントなどにも利用できる。</p> <p>新年度は、基本設計業務に取り組み、業務の中で市民向けワークショップなどでより多くの市民の意見を聞く場を設けていきたい。また、管理運営についても、検討委員会を設置し準備を進めたい。</p> <p>策定後は、実施設計、建設工事、平成 34 年度中の完成を目指している。その後、文化会館を解体し、駅東公園を整備する予定。新文化会館を、文化振興の拠点として、より多くの方々に</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>利用していただける魅力ある施設を目指したい。</p> <p>③上大納の DAINOU スポーツランドは、県内唯一のクロスカントリー専用のスキー場。例年、県スキー連盟や市スキー連盟の多くの大会が開催される。</p> <p>利用状況は、10年間の平均利用者数は、約1,500人。近年は減少傾向にある。利用内訳は、大会等での利用が最も多く、スキー教室、学校の部活動や授業、そして一般の練習などとなっている。</p> <p>コース整備や施設運営について県へ継続して支援要望をしたい。</p> <p>市ではスキー大会や IZUMI クロスカントリースキー大会を開催し、競技の普及に取り組んでおり、市・県の各スキー連盟でも積極的に大会や教室を開催し、選手の育成強化に取り組んでいる。</p> <p>市街地から遠距離にあるため小中学校の授業を行うには難しい面があります。そのため、ホームページの内容を充実したり、パンフレットを刷新し、広く配布したりして施設のPRに努め、大会以外の利用者増加に向けた取り組みを行っていききたい。</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
<p>一般質問 木戸屋議員</p>	<p>○学校再編計画の見直しについて</p> <p>①市民の意見をどのように反映するのか</p> <p>②小学生のアンケートについて</p>	<p>①新年度から学校教育環境検討事業として、本市が目指す教育環境について、市全体で課題を共有しながら考える「結の故郷教育シンポジウム」の開催、将来の教育環境について意見を伺う「意見交換会」の開催、児童生徒を対象とした「アンケート」を予定している。</p> <p>「意見交換会の実施方法」は、5月下旬から11月下旬まで小中学校、保育所、幼稚園の保護者や地域の皆さん、教職員などに将来の教育環境について意見を伺いたい。その他意見交換会の要望があった場合も対応していきたい。</p> <p>意見交換会の進め方は、始めに教育委員会から学校の教育及び施設の現状を説明し、その後、意見交換を行う。30人程度による車座形式で参加人数が多い場合は、グループに分けながら意見の出しやすい方法を検討する。意見は、開催結果とともに随時、市ホームページに掲載し、公開する。年度内に意見を集約し、資料として取りまとめる。</p> <p>②小学校6年生と中学校2年生に対し、6月頃に小中学生へのアンケートを行う予定。その内容は、現在の学校の環境や通学のことなどで、児童生徒に分かりやすい言葉を使用したり、理解しやすい質問にしたりして、今後、十分に検討する。結果についても、市ホームページに掲載し、再編計画見直しの資料として活用する。</p> <p>今後、市民の皆さまの理解を得られよう丁寧に進め、時期を失することのないよう着実に積み上げ、学校再編計画の見直しを進めていきたい。</p>
<p>栄議員</p>	<p>○教育長の提案理由説明について</p> <p>①第3期教育振興基本計</p>	<p>①文科省は、「我が国における今後の教育政策の方向性」について、昨年6月に閣議決定された第3期教育振興基本計画に基づき、『「人づくり革命」、「生産性革命」の一貫として、教育を通じて一人一人の「可能性」と「チャンス」の最</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
	画との矛盾について	<p>大化を目指す』としている。その中で、今後の教育政策に関する基本的な方針として、5点を挙げている。</p> <p>「1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」では、確かな学力の向上と豊かな心の育成などを目標としており、新学習指導要領の着実な実施やいじめ等への対応の徹底などが施策例として挙げられている。本市でも、「確かな学力を育む学校づくり」と「安心して通える学校づくり」に全力を上げ、学力の向上といじめ、不登校、虐待の防止に全力を上げたい。</p> <p>「2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」では、スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成などを目標としている。本市では、越前大野名水マラソンや奥越ふれあい駅伝の開催、B & G海洋センターでのカヌー教室の開催、わんぱく相撲への支援などを実施している。また、「C O C O N Oアートプレイス」でのギャラリートークや出展作家によるワークショップなどの参加型の取組みを実施している。</p> <p>「3 生涯学び、活躍できる環境を整える」では、人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進などを目標としている。本市では、「学びの里めいりん」を拠点に、公民館、博物館やC O C O N Oアートプレイス等の文化施設、エキサイト広場やB & G海洋センターなどのスポーツ施設等のほか、市内に点在する史跡や文化財等を有効に活用して、市民の交流と学びのさらなる充実を目指していきたい。</p> <p>「4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する」では、家庭の経済状況や地理的条件への対応などを目標としており、教育費負担の軽減に向けた経済的支援などが施策例として挙げられている。本市では、子ども達が心穏やかに過ごすことができる「安</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>心して通える学校づくり」のために、カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーを活用し、いじめ・不登校・虐待の防止に全力を上げる。また、経済的支援が必要な児童生徒に対しては、要保護・準要保護児童生徒就学援助事業により、適切な援助を行い経済的負担の軽減を図っている。</p> <p>「5 教育政策推進のための基盤を整備する」では、ICT利活用のための基盤の整備や児童生徒等の安全の確保などを目標として、学校のICT環境整備の促進や安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進などが施策例として挙げられている。本市では、新年度中に全小学校にタブレット端末を導入し、ICT環境の整備を進め、電子黒板やデジタル教科書とタブレット端末を併用して新たな学びを推進していく。</p> <p>国の第3期教育振興基本計画と本市が目指す教育政策はおおむね一致していると考えている。今後も国の基本的な考え方に沿って、本市らしい取組を進めてまいりたい。</p>
堀田議員	<p>○越前おおの元気プランについて</p> <p>①人が元気(エキサイト広場)について</p> <p>②大野へ帰ろう、奨学金について</p>	<p>①エキサイト広場「トレーニングルームの利用状況」は、平成25年度から5年間の利用者数の平均は3,400人余りである。本年度は、国体競技で約2カ月間利用できない期間があったので、2割以上少ない状況である。利用者は、安全を考慮して中学生以下を禁止しているので、成人の方がほとんど。</p> <p>新年度に購入予定のランニングマシンや筋トレマシンの導入により、健康づくりを目的とした女性や高齢者、また、筋力アップを目的とした若年層の方など利用者数の増加を見込んでいる。</p> <p>エキサイト広場アリーナでは、ほぼすべての土曜日・日曜日、祝日に各種大会などが予定され、休日に開放できる状況ではない。休館日は、条例により毎週水曜日と祝日の翌日などとなっ</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>ているので、夏休みなどの長期休暇中の休館日に、一定の時間、場所を子どもや親子、高齢者の方への開放ができないか調査したい。</p> <p>「隣接公園を利用した魅力ある施設」としての利用は、隣接する明治公園は、自由に利用でき遊具もあるので、子ども達も楽しめる場所となっている。</p> <p>一方、エキサイト広場は、利用申請を行い料金を支払っていただく。両施設は、目的も利用形態も異なるが、所管課が十分連携し柔軟に対応すれば、多くの市民の方が利用していただける。</p> <p>②「大野へかえろう事業」の「大野ポスター展」は、平成27年度から4年間で、高校生などが制作した92点のポスターが完成した。総選挙を市内各所での掲示とホームページで周知し、市内外から計53,414の投票をいただいた。制作の過程で、地元で働く大人たちの仕事内容や、地元に対する思いなどを知ってもらい、自分たちにも地元を元気にする力があることに気づいていただいた。ポスターについても「大野市に住んでみたくなった」など、高い評価をいただいた。</p> <p>「大野へかえろう」の楽曲は、平成27年度から3年間で大野高校の卒業生467人を保護者の歌で送り出している。3月1日開催の「就活Café in Ono」の参加者から「高校の卒業式で楽曲を聞き感動した。友達と一緒に『将来必ず大野へかえってこよう』と話し合った」という声もあった。</p> <p>写真集「大野へかえろう」は、平成29年から平成31年の成人式会場で、新成人合計877人に贈呈した。写真集がテレビ番組で紹介されたのをきっかけに、実際に大野へUターンされた世帯もある。「大野大人図鑑」をウェブサイトに掲載し、大野の魅力を発信している。</p> <p>フェイスブックでの情報発信では、投稿に対</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>する「いいね」数は、1件当たり 100 程度で推移。</p> <p>いずれも若い世代に、地元への誇りや愛着の醸成と大野へ帰ってきてもらうことを目的に展開してきたが、5年目となる新年度は、「(仮称)大野へかえろう展」の開催や、全ポスターを掲載したマップの活用やハンドベル演奏の楽曲を大野駅のチャイムとして活用するなど、発信が途切れることがないよう、事業成果を活用した取組を行っていく。</p> <p>「結の故郷奨学金」は、子ども達の修学上の経済的負担を軽減するとともに、ふるさと大野への帰郷を促進するため、平成 27 年度より 4 年間で 171 人、総額 7,494 万円を貸与している。事業成果は、卒業者 48 人のうち 23 人が大野に帰郷し、そのうち 2 人が婚姻している。今後は、新年度に貸与者のアンケートを行い、検討していく。</p>
高岡議員	<p>○教育長の政治姿勢について</p> <p>文化、芸術・音楽・スポーツ・教育のレベルアップについて</p>	<p>文化、芸術、音楽について 3 点。1 点目は「文化財保存活用地域計画」策定について。市内には、将来へ伝承すべき伝統文化や古文書、建造物などの文化財がある。これまで『大野市史』編さんや「おおの遺産」認証の調査などを行ってきたが、文化財の保存と活用に関する体系的な計画はなかったため、「文化財保存活用地域計画」の策定を目指して新年度から準備を進め、国への支援要望を行っている。</p> <p>2 点目は、大野市文化芸術交流施設「COCO NO アートプレイス」について。本年度 4 回の企画展を開催し、ギャラリートークや出店作家によるワークショップ、朗読会、大型造形の公開制作などで文化芸術の交流拠点としてきた。入館者数は、2 月末で約 27,500 人で、目標に及ばなかった。真価が問われる 2 年目に向け努力していく。</p> <p>3 点目は文化会館の整備について。文化会館では、市総合文化祭や文化公演、市民団体などの</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>自主公演事業として、吹奏楽祭や各種発表会などが行われている。質の高い音響設備や防音機能のある練習室などを備え、市民が気軽に集い、舞台芸術を楽しむ文化芸術振興の拠点として利用できるよう新たな文化会館の整備を進めたい。</p> <p>次にスポーツ振興について3点。1点目は、健康づくりの観点である。誰もがスポーツに親しむことができるよう、新年度は健康づくりを観点に加えた取組を実施する。夏休み前にラジオ体操会を複数回実施し、各地区での継続を促したい。また、体力測定会を実施し、健康長寿課の協力により体脂肪や筋肉量などの測定を行い、スポーツを通じた健康意識の高揚につなげていく。</p> <p>2点目は、スポーツ振興の拠点づくり。3月1日にスポーツ振興室をエキサイト広場へ移転した。新年度には、あらゆる世代の方に利用していただけるよう階段の手すりの設置や最新のトレーニング機器を導入する予定。本市のスポーツ振興の拠点として充実させていきたい。</p> <p>3点目は、本年度開催された国体を生かすこと。</p> <p>一つ目として、本市開催競技を市民スポーツに定着させたい。引き続き、サイクリングイベントやカヌー体験会を開催する。小学生相撲選手権の開催やわんぱく相撲大野場所への支援、（財）日本相撲協会による少年相撲教室の開催を要望していく。</p> <p>二つ目は、高まる市民のスポーツへ意欲を持続させるため、意欲のある団体等を優先して支援する。</p> <p>市主催でジュニア世代や指導者を対象に講習会などを開催してきたが、新年度には、トップアスリート等を招へいして講習会を行う団体などを支援する制度を新設する。</p> <p>学校教育について3点。1点目は、地に足をつ</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>けた教育行政の推進。変化と競争の社会が一段と加速してきている現状を踏まえ、地に足をつけた教育行政を推進していかなくてはならないと強く感じる。</p> <p>人は自尊感情がなくては生きていけない。この自尊感情を育む学校づくりに全力を上げる。</p> <p>2点目は、「確かな学力を育む学校づくり」。</p> <p>学校の最大の使命の一つは学力の保障である。子ども達が1日の中で最も長い時間を過ごすのは授業で、「分かる」「できる」という実感が持てる授業改善に取り組む。タブレットやデジタル教科書、英語を母国語とする国際理解教育推進員を活用し、情報化社会や国際化社会に対応した教育にも積極的に取り組んでいきたいと考える。</p> <p>3点目は「安心して通える学校づくり」子ども達が心穏やかに過ごすことができるよう、いじめ・不登校・虐待の防止に全力を上げる。新年度は、特に小さなけんかやからかいなどもその背景をしっかりと把握した上で対応するなど、いじめの認知範囲を広げ、早期発見・早期解決に向けて取り組む。</p>
ダニエル議員	<p>○小中学校夏休みの在り方について</p> <p>①学校の強制</p> <p>②夏休みの強制</p> <p>③夏休みの教員の仕事量</p> <p>④夏休みの宿題を親がやっ</p>	<p>①「夏休みの宿題や部活動など」は、学習指導要領で、確かな学力を育むためには、「家庭との連携を図りながら、児童生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること」が重要視されている。小・中学校で学習習慣を確立することは、生涯にわたる学習に影響する極めて重要な課題であるため、家庭と連携を図りながら、夏休みも含めて、宿題を適切に課す必要があると考えている。部活動は、生徒の自主的、自発的な参加によるもので、責任感や連帯感を育む学校教育活動として実施している。夏休み中も、同様の目的で行っている。夏休み中は休業日のため、児童生徒が必ずしも登校しなければならないことはない。保護者の判断で夏休みの行事などに参</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
	<p>いること</p> <p>⑤ 長期休暇を取ること</p> <p>⑥ 宿題をやらな場合の処罰は</p>	<p>加しないことも可能。みこしダンスパフォーマンスについても、保護者の同意の上で実施している。</p> <p>②「夏休み中の児童・生徒の活動」については、夏休み中であっても、児童生徒のバランスのとれた生活や成長に必要であると判断する活動については、計画すべきであると考えている。</p> <p>③「夏休み中の教員の仕事量」について。夏休み中は、授業はないが、教員は勤務日となっている。部活動などは、その勤務時間内に行っている。また、児童生徒の学力向上や学級経営に関する研修など教員自身の資質向上を図っている。ただし、お盆は、連続した休暇が取れるように、8月14,15,16日を学校閉庁日としている。</p> <p>④「夏休みの宿題」については、ほとんどの児童生徒が計画的に行っており、「規則正しい夏休みの生活につながっていてありがたい。」という保護者の声も多く聞かれる。小学校の低学年の児童は保護者と一緒に工作などに取り組むことで親子の絆を深めることにも役立っていると聞いている。作文や図画などは、学校が選択制にするなどしている。</p> <p>⑤「宿題などのない夏休み」について。共働きの家庭が多くなり、夏休みを家族と過ごせる家庭はあまり多くない。そこで、宿題を課すなど、規則正しく、充実した夏休みを送れるよう支援している。</p> <p>⑥「夏休みに宿題をしなかった場合」、学校では、叱責はしていない。できなかった理由を聞いたり、不十分な点を支援して、保護者とともに児童生徒を育てていくという視点に立って指導している。今後も、学校、家庭、地域社会が連携</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>を深め、本来の教育機能を十分に生かし、バランスのとれた教育が行えるように努めていく。</p>
<p>松田議員</p>	<p>○ 大野市歴史文化基本構想について ・どのように進めるのか</p>	<p>歴史文化基本構想は、地方公共団体が文化財保護行政を進めるための基本的な構想であると定義されている。これまで、県内外約 160 の自治体がこの構想を策定、または策定に向け取り組んでいる。</p> <p>これに代わる制度として、新たに「文化財保存活用地域計画」策定に向けた支援制度が始まる。</p> <p>計画の内容は、文化財の保存及び活用に関する基本的な方針を定めた歴史文化基本構想の内容に加え、中長期的に取り組む具体的な内容を記載することとなり、歴史文化基本構想を一步前進させた、より実効性のあるもの。本市では本計画を策定するため、国への支援要望を行っている。</p> <p>計画策定までのスケジュールは、1年目は、市内の文化財の調査と地域の文化財の掘り起こしを中心に行い、2年目には調査した文化財の整理とそれぞれの保存・活用の方針についてまとめ、3年目に文化財の保存と活用に必要な中長期的な施策について検討するなど、3か年をかける予定である。</p> <p>本計画の策定は、歴史文化と景観資源を伝え活かすためであり、市長部局と連携し関係団体や研究者の協力、助言をいただきながら取り組みたい。</p>
<p>廣瀬議員</p>	<p>○ 小中学校再編計画の見直しについて ① 具体的なスケジュールは</p>	<p>① 新年度から学校教育環境検討事業として、本格的に学校再編計画の見直しを進めていく。具体的には、5月中旬に「結の故郷教育シンポジウム」を開催し本市が目指す教育環境について、市全体で課題を共有し、考えていく。5月下旬から11月下旬には「意見交換会」を開催し、小中学校、保育所、幼稚園の保護者や地域の皆さん、</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
	②その後は	<p>教職員に、学校の教育や施設の現状を理解いただき、将来の教育環境について意見を伺う。6月頃、小6と中2にアンケートを行い、現在の学校の環境や通学のことなどについて把握していきたい。これら意見を集計し再編計画見直しの資料として年度内に取りまとめていく。</p> <p>②再編計画の見直しは、シンポジウムや意見交換会、アンケートから、将来を担う子ども達の教育環境に対する意見を多くの方々からしっかりと聞き、それらの意見をとりまとめた後、どのような方法が最善であるかを考えていく。</p> <p>今後、市民の理解を得られるよう丁寧に進め、時期を失することのないよう着実に取組を積み上げ、再編計画の見直しを進めていきたい。</p>
	○特別教室へのエアコンの設置について ・なぜ設置しないのか	<p>文科省では、昨年の夏、猛暑で小学生が熱中症で亡くなったことを受け、平成30年度第1次補正予算において、「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を創設し、全国の各小中学校の普通教室へのエアコン設置に支援したところ。本市では、これらに先駆け、国の交付金を活用しながら、平成25年度に全中学校、平成26年度に全小学校の普通教室にエアコンを設置した。しかし、理科室や音楽室、家庭科室などの特別教室は設置されていない。</p> <p>昨年の文科省の通知を受け、特別教室の中で授業頻度の高い理科室にエアコンを設置する検討をしたが、補正予算は、普通教室が最優先されやむなく断念した。平成30年度の他市の小中学校普通教室のエアコン設置状況は、敦賀市で99.6%、小浜市で99.2%、越前市で36.4%であり、その他の市は、本市を含め100%。特別教室は、本市と小浜市の44.1%が最大であり、その他の市は、12%～35%。</p> <p>特別教室のエアコンは、国の補助金などを活用したいため、補助金の確保と対象事業の拡大</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>や算定割合のかさ上げが必要。昨年度の全国市長会でこの要望があげられていると聞いている。今後も国へ要望をしながら、検討したい。</p>
野村議員	<p>○ 大型公共事業を直に見暮らしに支援を</p> <p>① 文化会館の事業費の削減</p> <p>② 子育て支援、保護者の負担軽減</p>	<p>① 文化会館の整備は、これまで市民や利用者などにアンケートを実施し、大野市文化会館在り方検討委員会で今後の方向性について検討、報告書を取りまとめている。その中で、新築による整備を行うべきと結論付けている。その理由は、一つ目に、改修工事では耐震性は確保できても、施設自体の老朽化は進むため、今後10年程度で課題が再度出てくることが想定され二重投資という市民の負担が増える結果となることが予想されること。二つ目は、駐車場不足は解消できず、バリアフリー化やトイレ数の増設、多目的トイレの設置についても、スペースの関係から、課題を解消できないこと。三つ目は、耐震補強工事は、施設全体で22箇所にブレースの設置が必要となり、ホールの音響やステージの照明操作に影響が出てホール機能の維持が困難になること。更に、鉄骨壁の新設2箇所、添え打壁14箇所、柱の補強なども必要となり利用者の通行が遮断される箇所も出る。これらのことから、耐震補強を含めた改修工事は採用しないこととしている。</p> <p>平成28年度に大野市文化会館整備基本構想を策定した。平成29年度より大野市文化会館整備基本計画の策定を進め、11回の策定委員会の開催、パブリックコメント手続きや住民説明会の開催を経て、2月の教育委員会で策定した。</p> <p>財源は、国の補助金・交付金などを活用し、市の負担を極力減らせるよう努めたい。</p> <p>② 本市の学校徴収金は、教科書以外の補助教材の購入費や修学旅行の積立金など、教育活動の結果として、直接的な利益が児童生徒個人に還元されるものは保護者の負担としている。学校</p>

質問議員	質問内容	答弁内容（抜粋）
		<p>給食にかかる費用負担は、学校給食法第 11 条で規定されているとおり、学校給食の実施に必要な施設・設備に要する経費や調理師の人件費、光熱水費などは市が負担し、食材費などは、保護者お願いしている。中学校の部活動の経費は、技能向上講習会の経費や各種大会に参加する際の交通費は全額、全国大会などの交通費や宿泊費、機材運送費は 2 分の 1 を補助し、保護者の負担軽減を図っている。使用する用具や消耗品は、それぞれ部活動の内容によって異なるので、保護者に負担をお願いしている。</p> <p>学校徴収金、学校給食費、クラブ活動費のいずれも、子どもの養育について第一義的責任を有する保護者が負担することが適当であると考え、今後も保護者にご負担いただきたい。</p> <p>経済的に困窮する世帯には、生活保護制度による教育扶助として、教材費、給食費、クラブ活動費を支給、就学援助制度による就学援助費として、学用品費、給食費、修学旅行費の支給を行っている。</p>

総務文教常任委員会（3月18日）

〈教育総務課〉

1 諸般の報告（山田事務局長）

- （1）学校再編の取組について
- （2）文化会館の整備について
- （3）結の故郷奨学金事業について
- （4）第67次福井県学力調査（SASA2018）について

1 決算特別委員会での指摘事項（山田事務局長）

- （1）各小学校のプールの活用について（大きな経費を掛けて修繕等を行っているのに、有効に活用されたい。）

【処理状況】プールの授業は、小学校指導要領に低学年では「『水遊び』として水に対する不安感を取り除き楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身につけること」、高学年では「水泳運動として、その行い方を理解しその技能を身につけること」とされている。プール学習は1学年平均約9時間で、授業総数は小学校全体では543時間となり効果的な活用を行っている。また、夏季休業中のプールの開放は、昨年実績で全小学校で125日、参加児童数は約3,200人。今後も、水温や気温、天候などを考慮して利用を図っていく。

1 付議事案及び結果

○議案第2号 平成31年度大野市一般会計予算案のうち教育総務課関係分

— 賛成多数で可決 — 付帯決議

○要望書 乾側小学校の耐震工事に関する要望書

（教育委員会の考え方）昨年12月25日に乾側地区区長会より本要望書が提出され、教育委員会では、本年1月18日に乾側地区区長会へ出向き耐震補強工事の内容や期間、経費などの説明を行ったところである。

教育委員会としては、「子ども達の安全を優先する」ことを基本として、その目的を達成する最善の方法を検討するため、今後も乾側地区の区民や保護者の方々のご意見をいただきながら協議を進めていきたいと考えている。

この計画は、教室内に補強壁が新設、改修されるなど教室としての利用に不便をきたすことが想定され、完成までには2年余りという長い期間を要することとなる。

耐震補強工事を実施する場合、児童数の推移も考慮しながら、将来の校舎の活用策についても明確にしていく必要がある。

1 審議の過程における主な意見（質疑）及び答弁

○議案第2号について

廣瀬委員 北信越等の大会への補助について、1回戦や2回戦で負けてしまった場合、2泊目の宿泊費の補助は出るのか。全中スキー大会について、1日目は開会式、

2 日目の回戦だけに出場する生徒については、それ以後の宿泊に対する補助がなかったと感じているがどうか。負ける場合でも必ず最終日まで宿泊の予約を入れる。1 回戦で負けた場合でも宿泊料は全額支払わなければならない。団を組んで福井県から出場するため、全員を対象に補助をお願いしたい。

答 弁 全国大会などに参加している場合の宿泊費補助は、参加期間中はすべて対象としている。

白崎委員 学校給食費の委託料について、小学校は 92,129 千円、中学校は 341 千円となっているがこの違いは何か。

答 弁 小学校は給食業務を業者に委託している。中学校は市直営で行っている。

白崎委員 文化会館について、検討委員会はどのような内容で行う予定か。議論がまとまった後、基本設計に入るのか。

答 弁 新文化会館の管理運営を、開館建設前にどのような組織で、どのように運営していくかを関係団体や市民を交えて計画を立てていくために設置を行うこととしている。

基本設計を先に着手する。管理運営委員会は、2,3 年かけて検討していく。

白崎委員 基本設計とは何をするのか。

答 弁 測量業務、ボーリング業務を含めて設計を行っていく。また駅東公園を含めた設計も一緒に行っていく。

白崎委員 基本設計と管理運営委員会との位置付けが分かりづらい。管理運営委員会の考え方が基本設計と合わない恐れは見込んでいないのか。

答 弁 図面上において運営の話をするようになる。管理運営委員会では、運営を行う組織づくりについても検討を行うこととなる。設計と運営方法を並行して進めていくこととしている。

白崎委員 管理運営で協議された内容が、基本設計に反映されないのではないかと心配している。スケジュール感を含め、協議された内容をどのように反映していくのか。

答 弁 4 月から 6 月頃にかけて、プロポーザルを行い、基本設計業務の委託業者を決定していく。その後、ボーリング業務や測量業務を行うとともに市民向けワークショップも行う。運営検討委員会は同時に設置し、管理運営等について協議を行い、基本設計に反映できるものは反映していく。併せて、庁内の関係各課による協議も行っていく。

白崎委員 委員の公募はいつごろなのか。

答 弁 新年度に入り次第行っていきたいと考えている。

白崎委員 業者選定と公募のスタートが同じになり、同時並行で進めていくことで、市民の理解がどれだけ得られるかが不明である。市民ワークショップなどで意見を募ってからプロポーザルを行う訳にはいかないのか。

答 弁 並行に進めていくとしているが、市民の意見を徴集しながら基本設計に反映していくこととしている。

白崎委員 代表質問で、現文化会館と新文化会館において機能面がどのように変わるか

を聞いたが、その違いが答弁で見られなかった。単に、現文化会館と現駅東公園を振り替えて新しくするとしか見えなかった。よって、ここでもう少し議論が必要でないかと思った。来月から業者選定のプロポーザルに入らないといけないのか。住民説明会も1回限りであり、もっといろいろな地区の方の意見を吸い上げていただけないかと思った。

答 弁 市民ワークショップは、委託業者が行うこととしている。そのワークショップで意見を吸い上げ、基本計画を基に設計をし、基本設計検討委員会でたたき台を基に議論していくこととしている。運営検討委員会は、基本設計検討委員会と別組織であるが、同時に協議を進めていくこととしている。

白崎委員 プロポーザルに参加する業者は、設計ができるだけでなくワークショップを進めるなどマネジメントができる能力が必要になってくると思う。そのような業者はあるのか。

答 弁 業者選定基準に、ワークショップの進め方なども入れながら業者を決めていくこととしている。

委員 長 白崎議員の質問が当然である。基本設計業務委託料の7千万円がどこから出てきたのか分からない。この業務を進めるのに普通はフローチャートを作るのではないか。背景が一つも見えてこない。だから同じ質問が繰り返される。

白崎委員 基本設計に入るまでに不明なところが多い。スケジュール感が見えてこない。新文化会館を建設することでどのような違いがあるのかを見せてほしい。

榮 委員 PFIは駄目ということで1,000席を見直し、現状程度としたが、その後、すぐにプロポーザルを行うことに理解ができない。

答 弁 これまでアンケートを含めて議論してきている。基本計画についても、平成29年度に策定予定であったが1年延ばしている。今回、基本計画を策定したため、基本設計に取り組んでいくこととしており、一つ一つ順を踏んで取り組んでいる。

榮 委員 初めから新しいモノを建てるということを前提に取り組んでいると一般質問では感じている。平成27年度に出されている報告書では、耐震をすれば事業費がかからないとしている。この報告書に基づく検討をしたことを聞いていない。一方的であると感じている。

答 弁 報告書が出された後、基本構想において議論し、耐震補強では機能改善が図れないとの結論に至り新築としている。

榮 委員 その時に、1,000人規模としているのではないか。

答 弁 基本構想の中で1,000席と決めている。

榮 委員 市長が代わり、1,000席から現状規模へ変更されたのであれば、耐震でいいのではないかとならないか。

答 弁 厳しい財政状況を勘案して、席数や規模の見直しとお聞きし教育委員会で検討を進めてきた。新築についての議論は、皆さんの意見を聞きながら行ってきた。

廣瀬委員 文化会館の耐震工事に係る情報は、市民に教えてくれていたのか。

- 答 弁 出していない。
- 廣瀬委員 イメージがない今の状態で、市民に意見を聞くということは無理ではないのか。
- 答 弁 その都度、議会への説明や市報への掲載など順を踏んで進めさせていただいている。
- 梅林委員 他市の類似施設を参考にした 21 億円はどこを参考にしたのか。市民の意見を聞いてプロポーザルをすべきと考えるがどうか。プロポーザルに参加する企業はあるのか。
- 答 弁 岡山県新見市を参考にしている。人口規模は 29,000 人程度。平成 11 年建設で席数 1,000 席、平米単価が約 44 万円、建設費約 23 億円となっている。また、埼玉県蓮田市も参考にしている。平成 26 年建設で客席数は 631 席、延床面積が約 4,150 m²、建設費約 23 億円、平米単価が約 56 万円となっている。プロポーザルとは、基本設計業務を委託する業者を選定する業務である。予算を作成する際、県外の業者に対して参考見積を 5 社からとっており、参加する業者はいると考えている。プロポーザルで選定された業者に、図面を作成していただく。図面作成においては、基本計画で定めた 4,000 m²、21 億円の範囲内とともに、整備コンセプトに基づいて設計をしていただく。設計段階において、市民ワークショップを何回か開催し意見を吸い上げていただき、設計を積み上げていくこととしている。ワークショップでは、基本計画を基にレイアウトや動線、間取りなどについて意見を聞きながら図面を作っていくこととしている。図面が出来上がった段階で、基本設計検討委員会で検討していく予定としている。また、その図面を基に管理運営委員会で運営方法や施設利用法を検討することとしている。
- 梅林委員 参考にした会館の利用者などの追跡調査はしているか。
- 答 弁 追跡調査はしていない。
- 梅林委員 費用対効果も調査しておくべきである。新見市が今、どのような状況になっているのかも調べておいてほしい。図面が出来上がってから、運営委員会で検討するということであれば、運営委員会の設立はもっと後でもよいのではないか。
- 答 弁 運営については、基本計画の中でも指定管理を基本としている。指定管理の受け皿となる組織が現在想定できていないため、図面が出来る前に人材の確保や団体組織の検討を早めに行った方がよいと考え、予算計上させていただいている。
- 梅林委員 指定管理は慎重にしなければならない。また、E 判定は聞いており、耐震問題やトイレ問題などは知っているが、ブレースを 22 入れなければならないことなどは初めて聞いた。
- 答 弁 ブレースの説明は前回の議会で説明をさせていただいている。
- 梅林委員 初めて聞いたとは本定例会でということである。耐震化をする場合、ブレースを建物の中にする場合と外側にする場合があるがそういうことも検討して

いるのか。

- 答 弁 計画では建物の中で行うこととしている。
- 梅林委員 市民に対して説明責任を持ってない。もう少し話し合いを持たなければならないと思っている。
- 副委員長 文化会館について、市長が見直しを求めたのは席数だけか。
- 答 弁 総合教育会議において、厳しい財政状況を勘案して文化会館の規模の見直しについて意見を言われたと記憶している。
- 副委員長 4億円ぐらいしか変わっていない。機能自体も見直していかないといけないと思う。1人でも多くの市民の方に利用してもらうという目的であれば、駅東公園も含めて再構築してどのように市民に利用してもらうかという思いが見えない。ただの建て替えにしか見えないがどうか。
- 答 弁 現在より駐車場スペースを確保し、スムーズに入館できる動線を確保するとともに、バリアフリー化やトイレ数・ホワイエのスペースを確保しながら、文化会館に用事がない方でも気軽に立ち寄れる施設を目指す。また防音機能を兼ね備えた練習室を整備することとしている。
- 副委員長 聞いていても市民が使いたくなる気がしない。11月だけ利用者数が多いだけで、あとの月の利用者数は少ない。市民が活用したいと思える状況ではないと思うがどうか。
- 答 弁 これから、市民が活用したいと思える施設の機能に対する意見を吸い上げながら、基本設計の中で検討していくこととしている。
- 副委員長 基本計画の中である程度、その思いが入っていないといけないのではないか。小さい子どもを持つ世代は、冬期間連れていく場所がない。文化会館がそのような施設になったら良いと思っている。
- 答 弁 基本計画に明記をしている。
- 白崎委員 基本設計の中にワークショップが入っているので、今までの議論はなんだったのか。また、市民の意見を聞いてから基本設計に入れたいのか。委託料からワークショップを切り離し、基本設計検討委員会でワークショップを行うことはできないのか。
- 答 弁 基本設計で図面を作成してもらい、その図面を見ながら市民の意見を聞くこととしている。
- 梅林委員 文化会館は浸水地域であるが避難場所となっている。検討したのか。
- 答 弁 総合的に判断し決定している。
- 梅林委員 この地域の方は、どこへ避難すればいいのか。
- 答 弁 現文化会館は水害時の指定避難場所となっていることから、新文化会館においても安全対策や浸水対策を施した施設にしていきたいと考えている。設計の段階で影響のないように検討していきたい。
- 梅林委員 駅東公園には素晴らしい樹木がある。出来る限り樹木を残してほしい。
- 副委員長 小学校管理備品整備経費の委託料について、ウィンドウズ7からウィンドウズ10へのアップデート経費と聞いたが、アップデートは無償できると思うが

何にかかる経費か。

答 弁 先生が使用する校務用パソコンのアップデート経費となる。中学校は平成 28 年度に、小学校は平成 29 年度からパソコンをリースしている。当時、ウィンドウズ 10 を導入したかったが市の財務システムが 10 に対応していないということで、7 をいれざる得なかった。よって、ウィンドウズ 10 のダウングレード版を入れている。委託料には 10 のライセンス経費は含めておらず、アップデートの作業料のみとなっている。作業には市システムとの接続設定やメール設定などが入っている。

副委員長 クラウド上で動くようにすれば良かったのではないか。

答 弁 情報と話をしながら進めていきたい。

梅林委員 いじめ防止対策事業は、昨年より減額されている。2 年連続で減額だが、その理由は。

答 弁 いじめ防止五箇条などの印刷物が各機関に行き届いていることと、児童生徒用図書を昨年購入したため削減している。

梅林委員 先生の研修費はこの中に含まれているのか。

答 弁 含まれていない。

梅林委員 費用が必要であれば申し出てほしい。

白崎委員 幼稚園費については、いつまで続くのか。蕨生小学校の維持管理経費はどれぐらいか。

答 弁 幼稚園の維持管理費で掛っているのが、乾側、小山、上庄の 3 つの幼稚園である。乾側と小山は現在放課後子ども教室で利用している。蕨生小学校については、体育館管理謝礼 10 万円や清掃業務で 37 万円、農業集落排水使用料 7 万 3 千円が掛っている。

榮 委員 結の故郷教育相談員の具体的な役目は。

答 弁 児童生徒の悩みなどを軽減したり、ストレスを和らげたりするために配置している。相談室で対応している。

榮 委員 相談室は各学校にあるのか。毎日配置されているのか。何人配置されているか。

答 弁 ある。学校によって日数は違う。小さい学校では年間 70 日、大規模校では年間 175 日配置の計画をしている。来年度は中学校に 4 人、小学校に 5 人の配置予定である。

○要望について

梅林委員 子どもたちが毎日過ごす施設であるため、早期に耐震工事をしてほしい。

答 弁 耐震補強工事をしていないのは乾側小学校のみである。平成 29 年度に耐震補強計画を策定している。工事概算経費は、約 2 億 1 千万円かかることを把握している。仮設校舎を行った場合は約 3 億円と想定している。その間、地区から先行再編の要望が出されたことから、現在実施していない。

1 その他の事項について

榮 委員 学校教育の第一義的責任は親にあると、一般質問で答弁されたと思うが、教育権は親にあるのか、子どもにあるのか。

答 弁 憲法では、すべて国民は保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負うとしている。教育基本法でも、国民は保護する子に普通教育を受けさせる義務を負うとしている。よって、義務教育の中で第一義的責任は保護者にあると答弁させていただいている。

榮 委員 子どもは教育を受ける権利を親に主張しなければならないのか。

答 弁 議員の言うとおり、法令では子どもには教育を受ける権利がある。

榮 委員 本来は、教育を受けにくい子どもに対して市が第一義的責任を負うのではないのか。

委 員 長 昔は、子どもを学校に行かせずに家業を手伝わせていた。よって、子どもに義務教育を受ける権利を与えた。親は子どもが学校に行く権利を止めてはならない。

榮 委員 学校に来いと言っているのは大野市でないのか。

答 弁 子どもに学校に来てもらうことが第一であり、経済的理由で学校へ来れないということがないように市は支援させていただいている。

白崎委員 働き方改革において、大野市教職員の負担軽減の取組み状況は。

答 弁 今年度より、年度始め休業を4月5日から4月7日にしており、その分、夏季休業を2日少なくしている。次に8月14日から16日までを学校閉庁とした。これにより教員が連続して休暇を取れるようになった。学校全体では、中学校は月曜日、小学校は水曜日に早く帰ることとしている。また、会議を短くするなどしながら取り組んでいる。その他、中学校の部活動担当を2人とするなどの業務改善を校長会で検討することとしている。

白崎委員 上庄中では部活動を選べない。他の中学校の部活へ参加できる仕組みは考えられないか。

答 弁 部活動のあり方について、検討していきたい。

白崎委員 市長から学校再編の見直しについて意見を言われたが、何故もっと早く動けなかったのか。

答 弁 市長からは市民の声を聞いてと意見をいただいたため、その方法について慎重に議論してきたからである。

梅林委員 学校再編審議会が今度行われる場合、公開されるのか。開催されるのであれば、どのような状況のときか。

答 弁 少なくとも会議録の公開はしていくこととなる。今のところ、開催することは考えていない。

梅林委員 総合教育会議において虐待の数字が出されたが、どのような基準でカウントされているか。

答 弁 虐待の数値は福祉こども課で把握しているものである。

梅林委員 今後条例の制定などを視野に入れているのか。

答 弁 制定は視野に入れていない。国や県の指針を受けて、市教委では不登校で会えていない子どもたちには必ず会うことを指示している。現在は全員に会えている。福祉こども課と連携しながら進めていく予定である。

副委員長 結の故郷奨学金については、継続等の検証結果を議会に報告してほしい。文化会館も該当するが、市有林を活用し大野市へお金が落ちる検討をしてほしい。

〈生涯学習課〉

1 諸般の報告（山田事務局長）

- (1) 平成 31 年成人式について
- (2) 生涯学習フォーラムについて
- (3) 青年活動推進事業補助について
- (4) 越前大野感性はがき展事業について
- (5) COCONOアートプレイスについて
- (6) 伝統文化伝承事業について
- (7) 化石保全事業について
- (8) 各種スポーツイベントについて

1 決算特別委員会での指摘事項等の処理状況について（山田事務局長）

- (1) 指摘事項：図書館に限らず、施設の管理委託料について精査するとともに、指定管理者制度を導入することが有利な場合もあるので、施設の設置目的を鑑みながら検討されたい。
【処理状況】 処理状況・結果：生涯学習課では、生涯学習センター、自然体験活動施設、公民館、博物館、図書館、B&G海洋センターなどの施設について管理業務の一部を委託している。指定管理者制度については真名川憩いの島、大野市ゲートボール場に導入している。平成31年度予算要求における施設の管理業務委託料について、清掃委託の回数等、業務内容を精査し削減するとともに、樹木管理・草刈委託料についても精査し削減した。また、長期継続契約の更新時に、清掃委託の業務内容を精査し削減に努めた。指定管理者制度の導入については、経費やサービスの質、効果、導入の範囲など総合的に鑑み検討を続けていきたい。

1 付議事案及び結果

○議案第 2 号 平成 31 年度大野市一般会計予算案のうち生涯学習課関係分

— 全会一致で可決 —

1 審議の過程における主な意見（質疑）及び答弁

白崎委員 使用料が平成 30 年度と比べ、10,000 千円程度減額となっているのはなぜか。

答 弁 博物館 2 館以外が商工観光振興課へ事務委任した。特に越前大野城の入館料が 10,000 千円近くあるため、減額となっている。

榮 委員 同和教育についてどのように行っているか。

答 弁 各公民館で研修会を開催するほか、職員については県が行う職員研修に参加している。また、福祉ふれあいまつりにおいて、講演会を開催し、広く人権の啓発を行っている。

榮 委員 予算の内容は。

答 弁 主なものは、研修会などの講師謝礼である。

白崎委員 大野へかえろう事業について、これまでの成果をどのように活用するのか。

答 弁 写真集は、来年の成人式まで配布する。楽曲は、加工しなければ利用できる

ため、大野高校の卒業生に対し、卒業式前日の行事の際にDVDを渡すなどしている。また、平成31年度には、事業の集大成として大野へかえろう展などを行う予定。

白崎委員 大野へかえろう事業の影響でUターンした実績は把握しているのか。

答 弁 2件把握している。

白崎委員 追跡できるものなら、成果がわかるように工夫して欲しい。

副委員長 3点について言いたい。1点目、富田公民館の2階会議室のカーテンが落ち、壁紙がはがれカビが生えている。回答は求めないが、修繕できないものか。2点目、名水マラソンのキャリングウォータープロジェクトの寄付はいくらで、体育協会への委託料は前回大会と同額か。3点目、真名川グラウンドのトイレの設置場所はどこか。

答 弁 2点目、キャリングウォータープロジェクトへの寄付額は40万円余りである。体育協会への委託料は、実績を精査し若干減額している。

3点目、トイレの設置場所はマレットゴルフ場から道路へ上がったところの民地である。新年度は分筆をするための経費を計上してある。

副委員長 名水マラソンの寄付の仕組みは違う事業への寄付として活用できるのではないかと感じた。トイレ設置の際、給水についても考えて欲しい。近所の家に水を借りに行っている状況がある。

答 弁 今年度春先に、これまで地下水を利用していたサッカー場の給水栓に上水道管を接続して飲めるようにしたところである。トイレを新設する際には、飲み水が確保できるよう検討する。

副委員長 夏場の給水は大切である。給水できる形でトイレの設置をお願いしたい。

白崎委員 使用料の見直しについて、公民館の使用料も含まれるのか。

答 弁 使用料全部について、見直すので、公民館も含まれる。

委員長 使用料見直しについては、所管する総務課で審議することができる。

白崎委員 公民館の講座は、公民館職員が企画しているのか、地区の人たちと一緒に企画しているのか。

答 弁 開催分野の制限は多少あるが、それぞれで企画する場合と協力して企画する場合がある。

1 その他の事項

白崎委員 民俗資料館移転について何をターゲットに移転するのか。

答 弁 観光、文化財保護の両面をターゲットにする。

梅林委員 COCONOアートプレイスの入館者数が目標を下回っていた。年間スケジュールを広報するなど、工夫していかないといけないと思うが、新年度の対応をどのように考えているのか。

答 弁 新年度の企画は概ね考えているが、詳細までは現段階では決められない状況。ホームページやSNSを活用し、情報発信を行っている。市民にも観光客にも来ていただけるように企画の内容も充実させたい。

- 梅林委員 市民所有の作品の登録が進んでいないと聞いている。このような事業を市が抱えていると、財政的な負担となる。アウトソーシングを検討し、クラウドファンディングなども考えていくと良いと思う。
- 副委員長 文化会館と同様、文化・芸術に関しても、民俗資料館の入館者数が 900 人程度で移転するということが不安がある。
- 図書館の 2 階の利用の状況は。
- 答 弁 図書館 2 階には、学習室・視聴覚室・和室があり、学習室は毎日利用がある。視聴覚室・和室については、読み聞かせの行事や読書会などで空いているのは週に 1, 2 日程度である。
- 副委員長 図書館の 2 階を民俗資料館にするなど、併合し管理者を減らすなどの経費削減の方法もある。
- 委員長 文化・芸術・スポーツについて、市民のレベルアップを図れる企画をと言ってきた。市美展の賞をひとつ増やして効果はあるのか。40 回記念で大野市民の制作意欲を高めるような企画を望んでいる。
- 答 弁 結の故郷賞を創設する外、残りの 20 万円で、市美展において市民の方が創作を体験できる場を設ける予定。
- 委員長 これで市美展における大野市民の出展数が増えるとは考えられない。武田宗雲など有名な講師がパフォーマンスをするなどの企画を期待していた。